

リスク検査 Noah について

1. 検査の目的

Noah（以下、当検査）は、健常者とがん患者の尿に含まれるアミノレブリン酸関連物質と酸化ストレスマーカーを測定し設定した基準解析値と受検者の測定結果を照らし合わせ、統計的な解析によりリスクを提示する検査です。当検査は、疾患の診断を目的としたものではなく、従来の画像診断や血液診断等に代わるものではありません。体内環境におけるリスクを把握することで、いわゆる健康診断や精密検査などの実施や、疾患予防への対策検討等に役立てるためのものです。統計データと検査結果との比較に基づいてリスク情報を提供するものであり、がんであるかどうかを診断するものではありません。

2. 当検査の限界

当検査は、リスクのある組織の発生部位、組織への血流の状態、周辺組織の状態などから、血液、または尿中に放出される物質に影響が出ることがあります。また、薬やサプリメントの影響により細胞代謝に影響が出ることがあります。当検査結果が基準値以下、あるいは基準値以上であった場合、ご自身で独自に判断せずに必ずかかりつけの医師にご相談ください。

また基準値範囲内であっても、不安や疑問を感じられる場合は、当サービスクールセンター、あるいはかかりつけの医師にご相談されることをお勧めいたします。

■対象となる方

- ・当検査申込日において20歳以上の男女（ただし、以下の「対象とならない方」を除きます。）

■対象とならない方

- ・ポルフィリンに対して過敏症の既往歴がある方
- ・ポルフィリン症の方、もしくはポルフィリン量に影響を及ぼす薬等を利用されている方
- ・先天代謝異常症のある方（先天性チロシン血症、Dubin-Johnson 症候群、Roter 病、ミトコンドリア病など）
- ・心血管系疾患のある方（例えば狭心症、心不全、不整脈の治療中、または経過観察中の方、ペースメーカーを使用されている方など）
- ・血液疾患のある方（悪性貧血、白血病、再生不良性貧血、Hodgkin 病など）
- ・悪性腫瘍のある方
- ・重篤な肝疾患または腎疾患のある方（例えば肝硬変、人工透析を受けている方など）
- ・重篤な呼吸器疾患のある方（例えば在宅酸素療法、間質性肺炎などの治療中、または経過観察中の方など）
- ・重篤なアレルギー疾患のある方
- ・担当医により対象とならないと判断された方
- ・妊娠中または妊娠している可能性のある方
- ・お子様に授乳中の方

※ALA カプセルを飲まれた後24時間の授乳を避け、ミルク等で代用いただけるのであれば当検査を受けることは可能です。

■測定値に影響が出て参考評価となる可能性がある方

- ・ビタミン欠乏症のある方（ナイアシン、B2、B6 など）
- ・化学物質曝露（過敏症）のある方（水銀、砒素、銅、金など）
- ・代謝亢進のある方（発熱のある方、少しきつめの運動をした後など）
- ・持続的な睡眠不足、睡眠障害のある方
- ・甲状腺機能関連疾患、婦人科系疾患などに罹患、または既往歴があり、ホルモンバランスが変化している可能性がある方
- ・悪性腫瘍の治療後、経過観察中の方
- ・お薬を服用の方（特に光線過敏症などの副作用の可能性が報告されている薬、ホルモン剤、肝機能に負荷がかかる薬等を利用されている方）
- ・サプリメントを摂取している方（特にマルチビタミン剤、発酵系の健康食品、クロレラなど）

※サプリメントなどは摂取を2～3日控え、採尿前日など休止して当検査を受けることもご検討ください。

3. ALA カプセルについて

以下、当検査に利用する ALA カプセルは、自然界に豊富に含まれている天然のアミノ酸である 5-アミノレブリン酸リン酸塩を含む健康食品です。体調や体質などによってはからだに合わない場合もありますので、不安に思われることがあれば、かかりつけの医師にご相談ください。

4. 免責事項

当検査はがんがあるかどうかを診断・確定するものではなく、また、生涯のがん罹患リスクを評価するものではありません。採尿時の体内環境リスクを統計解析値と照らし合わせ評価するもので、診断検査の受診や、予防への取り組みなどへのきっかけとしてお役立ていただくための非診断検査です。同意書に記載されている症状をお持ちの方や、治療目的でお薬を服用されている方は、正確なリスク判定とならない可能性があることを予めご了承ください。服用しているお薬の一時中断については体調に影響が出ないことをかかりつけの医師と相談したうえで、お申込みください。例えば抗生物質などの一時的なお薬を服用されている方は、お薬の服用終了後に実施するなどをご検討ください。

以上の点を踏まえ、当検査についてはお申込みされる方はご自身の判断と責任において実施いただくことを予めご了承ください。